



自民党・無所属 大阪府議団だより



しかた松男 議員が府議会で一般質問

大阪府
城東区
選出

しかた松男議員は12月15日(2016年)、府議会の本会議で一般質問に立ち、「大阪城・周辺エリアまちづくり」への取り組みや「いじめ問題」についての対策・見解を求めました。また、企業内保育施設への支援などについて質問しました。

プロフィール 昭和37年3月5日生まれ。大阪府議会議員、健康福祉常任委員会委員。自民党城東区支部顧問。自民党城東区第三支部長、自民党府連総務副委員長、保護司、社会福祉協議会役員、城東地車聯合会長、摂河洲地車聯合会長、府立港高校みなと会会長。ヘルパー2級、一般財団法人親学推進協会アドバイザー、空手初段(極真会館関西総本部)。<http://www.m-shikata.jp/>

今議会でも
強く要望

23年度より強く要望している、放出西地区・鯉江東地区・董地区・成育地区の交番所の設置を更に強く要望。

ランドデザイン大阪

大阪城・周辺エリアのまちづくりについて

大阪城東部地区への取り組み…
他エリアとのつながりで魅力ある都市空間に

Q. しかた議員 大阪城・周辺エリアには、大規模な土地利用の転換が見込める大阪城東部地区があり、私の地元・城東区の住民の方々からは若者向けマンション・スポーツ施設等の提案もなされており、府には市と協力してまちづくりの成案化にスピード感を持った取り組みを望む。また、エリア内だけにこだわらず、他のエリアへ拡がりのある都市空間の創造を進めるべきと考えるが、どのように取り組むのか。

A. 住宅まちづくり部長 大阪城東部地区のまちづくりについて「多世代・多様な人が集い、交流をはぐくむまち」をコンセプトに方向性をまとめたところであり、今後、地元や民間事業者等の提案を参考に市とともに成案化に向けた取り組みを進めます。また、他エリアへの拡がりを持った取り組み^(※)についても、スピード感をもって検討していきます。

(※第二寝屋川は大川を通して天満橋から「中之島・周辺エリア」、さらにベイエリアにつながるため、舟運の活性化を契機に歩行者ネットワークの完成に向け、「なんば・天王寺・あべのエリア」につながる上町筋は緑豊かな歩行者空間を検討。

企業内保育施設設置促進への支援

待機児童の早期解消のためにも

保育に取り組む 民間企業に支援すべき

Q. しかた議員 私が地域で応援している子育て支援拠点の利用者からも「勤めている事業所内に保育所があれば」という声を聞く。府は企業内保育施設の設置が進むよう、保育に取り組む民間企業に支援をすべきと考えるが、福祉部長の見解を問う。

A. 福祉部長 企業主導型保育事業を積極的に推進したいと考えており、保育施設の設置を検討している事業所に対し、利用可能な助成金や運営ノウハウを持つ機関等の紹介、相談支援事業などを実施しています。府内では27施設で事業が認められ(2016年11月時点)、全国最多の667名分の保育の受け皿を整備していきます。

いじめ問題 前年度の2倍!?

増加するいじめや暴力行為の問題解決を!

府内のいじめ認知件数及びその内容について

Q. しかた議員 文部科学省が平成27年度の「児童生徒の問題行動等の調査」を公表したが、いじめを認知した件数が22万4540件で過去最多と報道等で取り上げられ、大阪府でも増加しているのではと心配している。同調査での大阪府内のいじめの認知件数、いじめの内容はどうか。

A. 教育長 平成27年度の府内のいじめの認知件数は10,363件(小・中・高・支援学校)で、これは前年度の約2倍となっています。内容は公立小中学校で「冷やかしかからかい・悪口や脅し」が約60%と大半を占め(公立高校で約45%)、「軽くぶつかったり、遊ぶふりをして叩く・蹴る」が約20%、「仲間外れ、集団による無視」が約17%です。

いじめへの府の対応は?

Q. しかた議員 いじめの認知件数が増加している現状で、府では学校のいじめに対してどのように対応しているのか。

A. 教育長 「いじめ防止対策推進法」に基づき、早期発見や相談体制の整備に努めるとともに、学校、地域、家庭などと連携し、効果的な対策を進めています。教育庁としては教職員が子どもの小さなサインを察知し親身になって相談に応じることが、いじめの深刻化防止につながると考えています。

暴力行為について

Q. しかた議員 私は「全ての暴力行為がいじめである」というぐらいの構えで対応することが必要と考えているが、暴力行為に対する教育庁の考え、対応を問う。

A. 教育長 府における暴力行為発生状況は非常に厳しく、喫緊の課題と認識しております。対策として「生徒指導機能充実緊急支援事業」(中学校)、「小学校指導体制支援推進事業」を実施し、学校現場では生徒指導の組織的な取り組みが進み、暴力行為発生件数が減少してきています。